

はんげしょう 半夏生こんだて



明日だよ～！

はんげしょう ことば き
「半夏生」という言葉を聞いたことはありますか？

はんげしょう たう お ひ わかし たいせつ ふしめ ひ まいとし がつふつか
半夏生は、「田植えを終わらせる日」という、昔からの大切な節目の日です。毎年7月2日ごろのことです。

たう お いわ なつ づく ちいき た
田植えが終わったお祝いと、夏バテをしないためのスタミナ作りとして、地域ごとにいろいろなものを食べます。

かんさいちほう た ふうしゅう ゆうめい た
関西地方では「タコ」を食べる風習が有名なのですが、どうしてタコを食べるのでしょうか？

あし おも う たう いね ね あし じめん ね は
みなさん、タコの足を思い浮かべてください。田植えをした稲の根が、タコの足のように地面にしっかり根を張り、

こめ みの ねが た はんげしょう た しゅうかん
お米がたくさん実りますように…と願って食べます。ほかにも、「半夏生もち」を食べる習慣もあります。

きょう にちはや はんげしょう どうじょう
今日のこんだては、1日早い半夏生こんだて「たこメンチ」の登場です。

ことし こめ みの ねが こ
今年もお米がたくさん実りますように…と願いを込めて、

きょう きゅうしょく たの
今日の給食もおいしく楽しくいただきます。

